

令和5年度三田市高校生議会 質 問 書

【質 問 者】 7番 北摂三田高校 2年 奥山 もにか (おくやま もにか)

【担 当 課】 子ども・未来部 子ども未来室 健やか育成課

【答弁予定者】 市長

【質 問 事 項】 高校生の居場所になる環境について

【質 問 内 容】

7番 高校校生議員の北摂三田高校2年の奥山 もにかです。私からは、「高校生の居場所になる環境について」質問します。まずこの質問をするに至ったきっかけについて、3点お話しします。

1点目です。私の家庭は現在あまり裕福でなく、学校外教育に使えるお金があまりなく、塾へ通えません。同じ境遇の人も、何人かいます。三田市には図書館などの自習スペースはありますが、誰かに質問ができたりする場所はありません。塾のような場所がほしいのです。

2点目です。小中学校ではある程度仲の良い友人がいる人が多いです。しかし、高校になると、三田市以外の人が入ったり、友人と違う高校になったりすることでなじめない人が増えてきます。学校以外の居場所もあれば良いのですが、三田市は児童のサポートが中心で、高校生のための場所は行政ではなく、民間のものはお金がかかります。そんな居場所のない高校生たちを救いたいと考えます。

3点目です。さっきの2点をクリアする環境を模索していたところ、本校の森本先輩の「公の塾構想」を聞きました。公の塾は、無料で通える塾であり、高校生の居場所になり得るのではないかと思いました。

私はこれらのきっかけにより、「公の塾構想」に着手し、アンケートを本校生にとり、改良版を持参しました。これをお聞きいただき、ご意見をいただけたら幸いです。

アンケートは本校2年生に、Google フォーム形式で取りました。結果を一部抜粋して紹介します。

「あなたは三田市が運営する無償の塾があったら通いたいと思いますか。」という質問に対して、「自習塾なら行きたい」が59.1%、「学習塾なら行きた

い」が24.7%でした。

この質問で「学習塾なら行きたい」と答えた人への「実施場所はどこが良いですか」という質問に対して、「北三」と答えた人が27.5%、「公共施設」と答えた人は52.7%でした。

アンケートより、以下の案ができました。

公の塾とは、市が運営する無料の自習室です。市内の公立高校、公共施設で実施し、好きな場所へ通えます。常時スタッフを1名置き、それは退職した職員や教員をめざす大学生から募集します。完全自習の時間を50分×2回、スタッフや周りの人に質問できる時間を50分×1回行います。間に休憩を10分ずつはさみ、スタッフには50分ごとに1000円を支給します。実施時間は平日の18時～21時、休日の13時～16時です。募集条件はありません。

この構想で私たちができることは、スタッフや生徒募集などのPR活動です。たくさんの人でにぎわい、誰かの居場所になる公の塾を作ります。以上が案になります。

公の塾構想が実現することで、多くの高校生の居場所になると共に、高校生と大人との交流の場になります。このことは結果的に、自殺者を減らす側面もあると思います。そして三田市をもっと活気づける活動のひとつになります。

このように、私は「公の塾」を三田市につくりたいと考えています。この案について、ご意見をいただけたら幸いです。

【答 弁 内 容】

私からは、奥山議員ご質問の「高校生の居場所になる環境について」について、お答えいたします。

議員ご提案の「公の塾」は、昨年度ご提案された「公の塾構想」に同校生徒の意向を調査したアンケート結果を加え、市内公立高校や公共施設等を活用した学習指導スタッフが常駐する無料の自習塾であると考えますが、公の塾の構想を進めるにあたっては、多くの課題解決に向けた検討が必要となります。

まず、市が運営を行う場合、市内各市民センターの会議室等を自習室として利用することが考えられますが、複数の市民センターでの定期的かつ一斉の利

用については、貸館事業上、他の利用者との公平性や予算などの課題があります。また、各高校の施設を利用する場合は、学校の理解や協力体制が不可欠となります。

次に、配置するスタッフについてですが、全国的に教員不足が深刻な問題となる中、教育現場では退職教員の再雇用がより一層進んでおり、退職職員を少額の報酬で確保し、複数施設へ配置することは極めて困難と考えます。また、高校生の学習指導を行うためには、スタッフを教科別に確保することも必要であり、人材確保上、学生ボランティアであっても配置は非常に難しいと考えられます。

そして一番の課題は、公の塾の設置により、市内の民間学習塾の経営にも少なからず影響を及ぼすと想定されることです。民間利用者との公平性の観点も含めて、公費の投入には慎重な議論が必要になると考えます。他の自治体で実施されている事例では、民間の塾がない地域において、学校以外の学びの場として「地域と連携した学び」の機会を提供されていると認識しております。

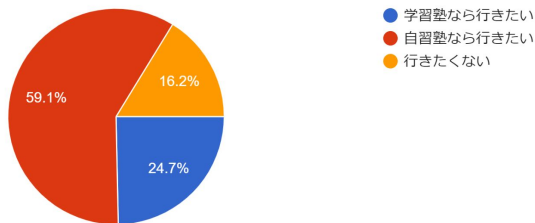
これらの理由から、提案内容に沿った公の塾の実施は難しい現状です。議員をはじめ、多くの高校生の皆さんの学力向上を目的とする学習指導の要望については、学校にご相談いただくことも大切かと考えます。

また、自習スペースについてですが、議員もご承知のとおり、図書館や市民センターロビーなどの交流スペースは、これまでも学生を中心にご利用いただいておりますので、ぜひ、積極的に自主学習に活用いただきたいと思います。

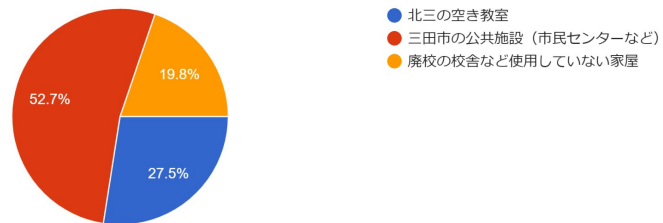
最後に、高校生が学習したり、大人との交流を交えながら放課後を有効に過ごすことができる居場所も必要との議員のご提案ですが、「居場所」については、一人ひとり自分に合った安心できる、自己存在感や充実感を感じられる場所であることが必要です。その場所を作るためには、他者から提供されるだけでなく、自らも主体的に探し出し、作っていくということも大切と考えます。

市としましても、高校生をはじめ子どもたち自身が主体となり、居場所づくりを考える仕掛けについて、今後重要な施策の一つとし、検討していきたいと考えますので、議員のご理解をいただきますようお願いいたします。

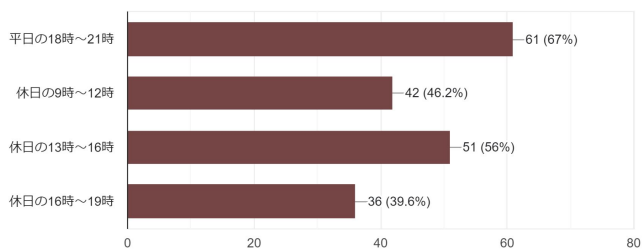
自治体が運営する無料の塾があったら、あなたは行きたいと思いますか。
154 件の回答



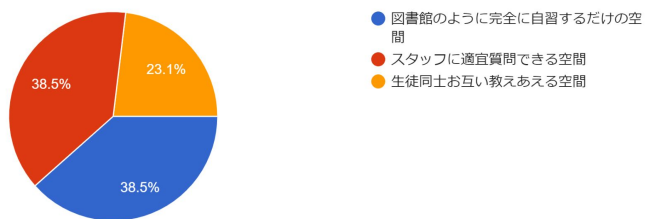
実施場所はどこがいいですか（自）
91 件の回答



実施時間はいつがいいですか（自） 注）複数回答可
91 件の回答



どんな空間がいいですか
91 件の回答



2023 9月 北摂三田高校アンケート結果（有効票:154票）